



例 会

- 開会点鐘
- 国歌
- ロータリーソング「奉仕の理想」

会 長 挨 拶

会長 舟元 英一 様



皆様こんにちは。私の任期も本日の例会を含め残り 4 回となりました。競馬で例えれば、最終コーナーである第 4 コーナーに差し掛かりました。競馬は、ゴールするまで何が起こるか分からないと申しますが、正に、手綱を緩めることなく任期を全うするよう努めたいと思います。先週日曜日は、フレンドリーコンサートへご出席いただいた皆様方には、ありがとうございました。

それでは、本日のお客様をご紹介させていただきます。有限会社ナチュラルプログレ 専務取締役 高山優貴（たかやまゆき）様です。高山様ようこそお越しいただきました。ごゆるりとお楽しみいただければと思います。よろしくお願い致します。

さて、巷では、「前川の乱」と称し加計学園の新設学部の設置を巡っていろいろと取り沙汰されています。先日も、前川喜平前文部科学省事務次官がテレビインタビューでご自分の座右の銘は、「面従腹背」である旨述べられていました。四字熟語といえば、「率先垂範」、「七転八起（しちてんはつき）」、「有言実行」等実に短い言葉で含蓄のあるものが沢山ありますが、「面従腹背」は、要は、人の面前では媚びへつらうが、腹ではそむくという意味で、言わば、うわべでは、上の者に服従するよう見せかけて内心は反抗することを表すことばであると言われていています。つまりは、「はいはいごもつともです。」と相手に従うふりをしていながら、心の中では、正反対のことを考えたり、反逆の機会をうかがったりすることを表す言葉であると言われていています。前川前事務次官は、小泉政権下でも、教育施策を巡って小泉前首相ともやり合うこともあったが小泉首相自身は、それを超えて踏み込むことはなかったと言っていました。今回は、阿部首相の指示の有無が取り沙汰されていますが、その点は、周囲の者が意向を忖度したのか、どうかは全くの不明であります。それは、兎も角、会社、職場等において、「面従腹背」は、リーダーにとって最も配慮を要する問題であるのではないのでしょうか。ロータリーも中核的価値観の中でリーダーシップ（リーダーとしての手腕）を掲げていますが、そもそも会員自体は、職場等におけるリーダーであり会員の資質に応じたリーダーシップをとられているはずで

先ごろ読んだ本にリーダーに必要な条件があるそうです。その 1 つが、命令や指示でなく「信頼」と「安心感」だそうです。優秀なリーダーは、直ぐに「ああだ、こうだと命令をしないそうです」自分のやり方を押し付ける。一応使われているのでその場は聞くが、全然腰が入らない。そうすると「面従腹背」が起こる。この点、うまくやっているのがトヨタだそうです。「トヨタウエイ」と称されるトヨタ生産システムの元祖構築者である大野耐一氏は「なぜを 5 回繰り返す」会話法によって部下を誘導し本気にさせる方法をとったそうです。つまり、部下が何か問題をもってきたら答えを出さずに「君は、この原因を何だと思う。」「こうゆう理由だと思う。」「でも、なぜそうなのだろう



うか」。そうやって原因を掘り下げていく。5回も繰り返すとさすがに原因にたどりつくそうです。その上で、「君だったらどうする」と聞くそうです。自分で原因を探っているから「分かりません」とは言えない。「こんなことをやったらどうでしょうか」という。「じゃやってみろ」と言って背中を押して帰す。何のことはない問題を持ち込んで、自分で原因を探して、解決策を考えて、自分でやるはめになるこれがトヨタ流リーダーシップだそうです。

ところで、本日は、この後、各委員長の一年間の感想、活動報告です。各委員長の皆様よろしくお願ひ申し上げます。

お客様

有限会社ナチュラルプログレ 専務取締役 高山 優貴 様



表彰伝達式

舟元会長から感謝状及びバッチを贈呈します。

- ロータリー財団ポールハリスフェロー（感謝状・バッチ） 下原 学様
- 米山記念奨学会米山功労者（感謝状） 中川修一様



舟元会長よりフレンドリーコンサート主催者からの感謝状をご披露いただきます。

幹事報告

幹事 織部 秀一 様

- ・6月4日フレンドリーコンサートへご出席くださいました皆様ありがとうございました。
- ・来週6月14日(水)の例会はクラブフォーラムです。細則14条にもとづき、このクラブフォーラムにて細則の改正についての投票をいたします。





委員会報告

■ 副会長 宮川 務様

来年度の家庭集会について、次期会長 石澤さんより 6 月中より行動していただきたいとの事で、ベテランの方をリーダーにしました。発表は 7 / 2 6 です。「ロータリーを楽しむには」というテーマをお願いします。

■ 広報委員 矢原憲雄様

本日の各委員長一年間の感想の原稿を受付にご提出ください。



各委員長 一年間の感想

クラブ管理運営委員長 下原 学 様

今期の基本方針として、舟元会長の活動方針「ロータリーで自分磨きをしよう」を体感できるような有意義なクラブ活動を目指してきました。一年を振り返ると、見事にクラブ管理の皆さん全員が様々な活動を通して自分磨きを経験できたことと思います。

また、もう一つの方針「野々市ロータリークラブに入会して良かったと実感できるような楽しい親睦行事をしよう」では、夏を楽しむ会に始まり、季節毎の親睦行事のその会毎に事前打ち合わせを何度も行い、これまでと違ったアプローチで催し、会員の皆様に受け入れてもらえるかどうか心配していましたが、色々な方の協力・応援があり、帰り際には参加者の皆さんから「楽しかったよ、おつかれさん」と労いのお言葉声を頂き「あー良かった」とホットした思いでした。

最後にこれから未来のクラブ管理運営委員長となられる方へのアドバイスとしては、「是非自分流に楽しんでください！」私はとっても楽しかったです。



奉仕プロジェクト委員長 本田英夫 様

基本姿勢

地域社会に貢献活動を行うことにより、ロータリー活動の魅力を発信していきたい。このことがしいては会員増強につながると考えます。

活動計画

① フレンドリーコンサート 年々市民の来場者が増え、今年は満員の盛況でした。コンサートは音楽活動に頑張っている地域の中・高校生にとっては晴れの舞台であり、素晴らしい演奏でした。我々の支援が青少年の育成に繋がると思い、今後もこの活動を継





続していく必要があると思います。

② 水源の森づくり 織田年度からスタートし、白山・白峰地区でのブナの植林活動も 3 年目の舟元年度では更に 200 本を増殖した。この作業に多数の会員が汗を流し、その後の温泉入浴、楽しい会食と心身が癒されて素晴らしい行事が体感できました。

③ 青少年育成支援 高校生の交換留学制度の支援活動に取り組み、優秀な学生をアメリカへ留学させるための選考を終え、石澤年度で実現することになりました。

奉仕委員長として良い経験をさせていただきました。

心残りとして中村啓二郎さんが中心となって取り組んでこられた貧困国の学校教育環境支援のお手伝いを出来ないかと考えておりましたが、考えだけで終わりました。残念、残念。

広報委員長 中村寛二 様

2012 年以降に入会された 18 名の方の研修会をベテランの方にも参加いただき、年度内に 3 回実施してきました。広報活動、地域活動、PR 活動を行い、今回のフレンドリーコンサートは北國新聞にて取り上げられ、野々市 RC の支援も報道されました。

オリエンテーションでは各人の仕事が忙しいせいで、多数の方の参加が得られなかったことが残念に思います。幅広い活動を通じ、ロータリーアン同志が互いに理解し、認識し合い、打ち解けていくことが、楽しさを深めていくと思われれます。新しい出会いのため、新人だけでなく、ベテランの会員の参加もお願いします。



会員増強委員長 織田英也 様

当初 3 名の増強を目指していましたが、前半は入会者ゼロ、後半は 2 名が決まり、今日お客様で参加している高山優貴さんの 3 人目の入会を願っているところです。



R 財団・米山委員長 中村俊昭 様

普段は反省することが多いのですが、今年度は国際ロータリー第 2610 地区、野々市 RC 共に目標を達成し、R 財団・米山委員会は反省する事なし！

米山委員会では法人の大口寄付もあり、おかげ様で野々市 RC は米山記念奨学会より表彰されました。

ロータリー財団では創立 100 周年で今期は特に力を入れて目標達成に力を注いできましたのでクリアできました。

R 財団目標 5,000 \$ が 7,000 \$

米山記念奨学会目標 64 万円が 104 万円





ニコニコボックス

齊藤 邦博 様

卓上の花：アンスリウム 花言葉：情熱

卓上の花：上田様、織田様、新保様、田嶋様、長門様

舟元 高山様ようこそお越しいただきました。いかがだったでしょうか。

織田 高山様ようこそお越しくございました。

中村寛二 今期ももうあとわずかになりました。皆様有難うございました。

松田 雨になりました。

宮川 高山さんようこそ！！

石澤 理事・役員の皆様一年間ご苦労様でした。来期もヨロシクお願いします。

下原 高山さん今日はありがとうございました。また来てくださいね。

矢原 各委員長 1 年間の勤めご苦労様でした。新会員・高山様歓迎いたします。今後ともよろしくお願いします。

中川 本日、米山表彰受けました。ちょっとロータリアンになった気がしました。ありがとうございます。

竹澤、上田、清水、松井、齊藤

本日の収入額 17,000 円 累計 962,850 円



4つのテストの唱和

宮川 務 様



写真：松井、記録：矢原